



類證辨異全九集卷之五

癆瘵門

癆證ノ本源

癆瘵ノ病只一端ノ事ニアラス神氣ト形體ト虚損シ心
氣腎精ヲ勞傷メ是ヲ得タリ心ハ血ヲツカサトリ腎ハ精
ヲツカサトル精汁ツキ血液カワヒテ即勞ガイ生ス

凡壯年ノ時血氣充滿シ精液全備ノア井ダタモ千慎
ズ酒食ヲ過シ房色ヤマスノ精元ヲヤフリ不食盜汗白
濁遺精之面白ク燥キ頬クレナイニ體熱シ咳痰嘔血骨
蒸等ヲコル腎虚スルニヨツテ火邪盛ニ金ヲトロフ重キ
ハ半年ニ死シ輕キハ一年ニ死ス

凡醫者コノ病ニアハ、其人血氣未ヤフレズ精神未散せ

スレハ治スヘシ其血氣既ニヤブレ形體肌肉ケツリトル
コトク日夕ヲヨヒ發熱シ效嗽シ大便泄セハ必治スヘ
カラス神丹聖藥アリト云共驗アラサル者ナリカクノコ
トクノ證醫者其本ヲキワメスノ或ハ大寒藥ヲスハメテ
イヨク其中ヲ虚シ或ハ大熱藥ヲ用テイヨク其血精ヲ
ツクス能ク慎ムヘシ

五勞六極七傷ノ説奇効良方ニアリ

五勞トハ志勞思勞憂勞心勞瘦勞是五臟ノ病ナリ勞
トハ神氣ヲツカラカスノ意ナリ六極トハ氣極血極筋
極骨極肉極精極是六腑ノ患也極トハ諸藏ツカレテ
主屬ノモノキハマルノ意ナリ七傷トハ心肝脾肺腎并二
内外ノ傷ナリ或ハ五藏ト并骨ト脉トノ傷也傷トハ形

容ヤフルノ意ナリ

治例

血盛ナラハ	蒲黃	茜根	藕節	薊根	
痰盛ナラハ	半夏	橘紅	茯苓	枳殼	瓜蒌根
喘盛ナラハ	桑白皮	陳皮	蘇子		
熱盛ナラハ	山梔子	黃柏	黃芩		
風盛ナラハ	香附子	防風	荆芥		
寒盛ナラハ	人參	桂枝	五味子		
物ニヲトロキムナサワキセハ	遠志	茯神			
淋濁アラハ	猪苓	澤瀉ノ類			
小便シフラハ	木通	石韋ヒトツハノコトナリ			
遺精白淫アラハ	龍骨	牡蠣			

燥熱せハ 石膏 青蒿ノ類カラエモキノノナリ

盗汗イテハ 牡蠣 黃芪 麻黃根

病ノ淺物ハ 四花 膏膏ノ穴ヲ灸スヘシ

諸方ニ云此證ニハ蟲下ツテ心肺ノアイタヲカムト必ス先
コレヲサルヘシ神靈圓ニテ吐出サスヘシ

此蟲ヲサラサレハ藏府ヲ食盡シ其人氣ツキマサニ死セン
トスル時九竅ヨリトヒイテカタワラノ怯弱ナル人ノ腹中
ニ入テ傳尸病ト成テ多ク人ニウツリワツラハシムル也
傳尸病ヲコノロムルノ法

先安息香ヲ燒テソノ煙ヲスハシムルニスワブキセサルハ傳
尸病ニアラス故ニ神靈圓ヲ用サレ煙ヲスワシムルニスワ
フキヤハサルハ即傳尸病也ヨロシク神靈圓ヲ用ヘシ

癆瘵之治方

神靈圓 癆瘵ノ諸蟲ヲサル

雄黃 鬼糞 天靈蓋 鼈甲 木香 輕粉 大黃

右細末シ酒ノ糊ニテ丸シ辰砂ヲ衣トシ童便ニテ五
更ニ吞セヨ一時ヲヘタテ必蟲ヲ吐ス

地骨皮散 骨蒸壯熱肉ハレカ十ク子アセノタルヲ治ス

地骨皮 秦艽 柴胡 枳殼 知母 當歸 鼈甲分等

右剉桃ノ枝サキ烏梅ヲ入テ煎シ用ヘシ

地仙散 骨蒸肌熱シ一切虛勞ノ煩躁ヲ治ス

地骨皮 防風各一兩 甘草二錢半

右キガミ竹葉ヲ入セン服ス

清骨散 男女五心煩熱シ癆瘵トナラントスルヲ治シ骨

癆瘵

熱ヲ去事神ノコトシ

生地黄二兩 人參 防風 秦光 赤茯苓 熟地黄各一兩

柴胡二兩 薄荷七錢 胡黃連半兩

右判煎ノ服ス骨熱セハ少利スル藥ノ用テ後與ヘシ

人參散 邪熱經絡ニ客トシ痰嗽盜汗頭目クラクイカ

手足ノタルキヲ治ス

黃芩半兩 人參 茯苓 白朮 半夏 赤芍 杜仲

當歸 甘草 乾葛各一兩

右判十ツメハシカミヲ入セシメ服ス

潤神散 勞サレ増寒發熱シ口カワキ咽カワキ自汗スル

ヲ治ス

人參 黃芪 竹葉 麥門冬 桔梗 甘草

右キサミセシメ服ス

散火湯男女ノ手足發熱シ肌熱シ筋レビシ髓熱シ是ヲ捫ヒキ

スレハ手ノヤクコトクナルヲ治ス血虛ノユヘナリ

柴胡八錢 白芍 人參 升麻 葛根 獨活 羌活各半兩

防風三錢 甘草三錢 錢者灸 錢者生用

右判ミセンメ服ス寒涼ノ物ヲ食スル事ヲイム

柴胡湯虛勞ニ榮衛順セス潮熱アツラ黃色ニヤセテ筋骨

ヨハリ痛ミ飲食進退アルラス

柴胡二兩 秦光一兩 鼈甲半兩 知母 甘草各一兩

右判三十ツメヲ入煎ノ用ヘシ

五蒸湯骨蒸壯熱ノ通用

石膏三錢 生地黃 葛根 茯苓各二錢 竹葉二分

石膏分半

人參 黃芩 知母 各一錢半 甘草 七分半

右剉粳米ヲ入センノ用ヨ 海蘼カヲレヲ忌ト

解勞散 虛勞ノ堅積腹中ヲ攻メ胃痛テ背ニトヲルヲ治ス

白芍 半一兩 枳殼 鼈甲 柴胡 各一兩 赤茯苓 甘草 各半兩

右キザミ生薑十ツヲ入センシ食後ニ温服ス

柴胡梅連散 勞癆骨蒸久愈サルヲ治ス又五勞七傷ニヨシ

柴胡 前胡 烏梅 胡黃連 各等分

右剉童便ヲ入猪脊髓迷白ヲ加煎レ服ス三服ニテ悉イユ

遺精門

精之主宰ハ心ニ有リ精ノ藏制ハ腎ニアリ内經ニ曰精身ノ本生氣ノ源髓ノ化ナリ陽密ナレハ精即加仁シ陰陽離散スレハ精氣即ツク人ヨク道ニ法トツテレツカナレハ精氣

内ニタモツ智勞スル則ハ降ル者クダラズ升ル者ノホラス

水火ヘタタリ真精自ラモリ交ラスノ遺泄ス要略ニ曰虛

勞ノ病タルコト脉浮大手足煩陰寒テ精自カラ出泄ス

元精皆精ノ論 父母ノ精氣ヲ得テ父子トナリ人トナル其

根右腎左腎ノ間々臍ノ下ニ有リ是人ノ元氣也 是ハ生

來ノ精也 食氣胃ニ入テ精ヲ五藏ニ散シ水飲肺脾ヨ

リ腎ニ通ス腎氣ヨモニ通シテ五經トラビニユク精コレラ

ハ水穀日々ニ生スルノ精也 其水穀ノ精生來ノ精ニ相

隨テ五藏ニ分布ス

治例

夢ニ遺スル者ハ心ヲ治シ 精ノ滑ナル者ハ真ヲ堅シ

漏者ハ其精ヲノブヘシ 濁テ赤キ者ハ心ヲ温ヘシ

濁テ白キ者ハ經ヲ温メヨ 白淫ノ者ハ榮血ヲ調ヘシ

遺精之治方

蓮肉散小便白ク濁リ夢ニ精ヲモフスヲ治ス

蓮肉 益智 龍骨

右等分ニ細末シテ空心ニ米飲ノウワスミニテ用

秘真散小便白淫精氣カタカラス及餘瀝アツテ夢ニ陰人

ト下シハリ泄精スルヲ治ス

龍骨一兩 縮砂半兩 訶子半兩 辰砂一兩

右末シテモキノリノニテ丸シ冷湯ニテ下ス

吐酸門

吐酸ハ熱ニ屬ス脾胃病ヲウクルナリ内邪ライフトキハ痰飲宿食ノシワサナリ

治例 熱スル者ハサアスヘシ脾ハ濕ヲ惡ム苦ニテカワカセ

痰アラハ散メ涼フセヨ 宿食アラハ消シミチ引ヘシ

吐酸之治方

麴末丸中脘ニ宿食アツテ曾ヲコガシ心痛シ或ハ口ヨリス

ミツヲハフヲ治ス

神麴一兩 蒼朮二兩 陳皮一兩

右細末ノ薑汁ニテ神麴ノ糊ニテ丸メ薑湯ニテ用ヘシ

痔門

諸證 必痔ハシリノマワリニ肉珠ヲアラハノ鼠ノ乳ノ如クニテウミ血ヲ出ス 牝痔ハシリノマワリニ瘡ヲ生シ腫シ痛三四五日ニウミツエテ即散ス 脉痔ハ尻ノマワリカタクサ子マリツブクトノ痛ミカユク血ヲナガシ膿水シタハル

腸痔ハシリノヲク結核シ血イデ寒熱往來シカワヤニ行
ク毎ニ脱肛ス 血痔ハ大便ニ行毎ニ清血下ルヲヤマズ
酒痔ハ酒ヲノムコトニ痔イテキ腫レテ血ヲナカス
痔ト漏トノ辨 痔漏同シト雖ハ比初シリノマワリニ生
シ物イテキヤフレサルヲ痔トイフ既ニヤフレ潰テ黄汁膿
血イテヤハサルヲ漏ト云ナリ

治例 大略熱ヲ解シ血ヲ調ヘ氣ヲ順シ血ヲスハシフレ風
フガリ毒ヲ消ス

腸澼痔漏之逆順 便血ノ身寒ルハ吉便血ノ身熱スルハ
惡腸澼白沫ヲ下シ脉沈吉腸澼白沫ヲ下シ脉浮ハ凶
膿血ヲ下シ脉滑大ハ生膿血ヲ下シ脉懸絶ハ死ス

痔之治方

橘皮湯氣痔ヲ治ス 橘皮 枳殼 川芎 槐花 各半

檳榔 木香 桃仁 紫蘇 香附子 甘草 各二錢半

右剉ミ生薑十ツメヲ入煎服ス

乾葛湯專酒痔ヲ治ス 乾葛 枳殼 半夏 茯苓

牛地黃 杏仁 黃芩 甘草 各等分

右剉黑豆生薑白梅花ヲ入煎ノ服ス

加味四君子湯五痔下血面ノ色シホミ黃ニシ習サソキ耳

鳴リ足ヨハク氣トラク口燥ト食味ヲ知サルヲ治ス

人參 白朮 茯苓 白扁豆 蒸 黃耆 甘草 各等分

右末ノ白湯ニテ点シ服ス一方ニ五味子有テ甘草十シ

地榆散痔瘡ハレ痛ムヲ治ス 地榆 黃耆 枳殼 檳榔

川芎 黃芩 槐花 赤芍 紫活 各一錢 白薇 蜂房

甘草 錢半

右到三煎用へし

黃芪飲痔瘡ヲ治ス 人參 黃耆 生地黄涼血 川芎

當歸和血 升麻 條芩束大 枳殼腸 槐角涼血 黃連

右到三煎テ可用

清涼飲諸痔熱甚レク大便結ムルヲ治ス 當歸 赤芍

甘草 大黃蒸 右到三煎テ服ス

汗門

陰虛陽虛之分別 內經ニ曰陰虛スレハ陽必アツマレ發

熱ノ自汗ス陽虛スレハ陰必束ス手足ヒエ升テ目汁ス

自汗盜汗之辨 發散ニヨラズメ自ラ汗出ルヲ自汗ト云

睡中ニヲホムスノ汗イツルヲ盜汗ト云血虛ナリ

諸證之因治 火氣ノホリ蟲胃中ノ濕汗ヲ十廿ハ涼膈散

ヲ用ヨ雜病ノ盜汗ハ心虛ノ故也心氣ヲオサメ腎水ヲ

マノ陰陽調和シ水升リ火降レハ其汗自ラトマレ

別麴ニ汗ナク兩乳ノ間ニ計リ汗出ルヲハ心汁ト云也

思慮多ケレハ汗モ又多シ心血ヲ養フヘシ

凡黃耆黃連生地黃當歸ノ類ニテ血氣ヲ補ヒ以テ陽

ヲ制シ熱シツカニシテ汗ヲノツカラ止ルナリ

汗之治方

黃耆六一湯虛勞ノ自汗ヲ治ス 黃耆六錢 甘草一錢

右到生薑十ツメヲ入煎スル也 白朮白芍ヲ加ヘテ佳也

當歸六黃湯盜汗ヲ治スノ聖藥也 黃柏 當歸

熟地黄 黃芩 黃連各一錢半 黃芪一錢

右到煎メ用ベシ

建中湯表虛ノ自汗九ヲ治ス 芍藥五錢 宿桂各

右判生薑十ツメヲ入煎テ服スヘシ 黃耆二錢ヲ加テ黃

耆建中湯ト名ツク 虛勞ノ自汗ニ良 當歸二錢ヲ加テ

當歸建中湯ト名ツク 婦人血虛ノ自汗ニ良シ

大建中湯 虛熱ノ盜汗百節痛三口ニカク 氣短ヲ治ス

黃耆 遠志 當歸 澤瀉各三兩 白芍藥 龍骨

人參各二兩 甘草炙一兩 右判煎テ服ス 一方ニハ桂心有

正氣湯 盜汗ヲ治ス 黃蘗炒 知母各一錢半 甘草五分

右判煎ノ食前ニ服スヘシ

經驗方 盜汗及ビ陰汗ヲ治ス

牡蠣ヲ炒テ末ノ汗アル麩ニヌルヘシ

欬逆門

内經ニ曰 歲金ノ太過 欬逆スト 又曰 金鬱之發 欬逆ヲ發

スト 或ハ急ニ燥キタル物ヲ食シ 氣フサカリ 皆ニク 欬逆ヲ

ナス 咳逆トハ 順ザルノ儀也 皆氣ノクタル事ヲエサル故也

治例 カミヨリヲ以テ鼻ヲイロイ鼻ヲヒテトマルツラコト

ヲユヒツケ 恐レ驚カシメテトマル鼻ニアツキ 食ノニホイヲ

カガシメテトマル 右皆是ニテ驚カメノ氣ヲ降スノ意ナリ

吐利ノ後 胃虛寒ノ欬逆セハ 菴活子 柿蒂 吐利ノ胃

熱シ 燥キテ 欬逆セハ 橘皮 竹茹ノ類 若實スル者ハ 傷寒

ノ下ヲ失シテ 地道通セスノ 欬逆スル者ハ 是ヲ下スヘシ

傷寒ノ 欬逆ノ 分別 仲景カ曰 傷寒ハ 表虛シタルニ 依テ

邪ニアタル 其邪ヲ攻ル 則ハ 必 欬逆ス 又大ニ汗シ下シ

虛極テ 欬逆ヲナス 胃虛寒スル故也 橘皮 生薑 半夏

又陽證ニシテ潮熱有テ效逆セハ柴胡 黃芩 橘皮 竹茹
陰虛ニ陽火俄ニ甚メコミアゲ肺ニ入テ效逆トナラバ熱
ヲ瀉シ火ヲ降スヘシ

久病ノ後或ハ産後ニ此證アラハ皆病深ノ意ナリ
效逆之治方

橘皮竹茹湯吐利ノ後胃虛シ膈熱ノ效逆スルヲ治ス

橘皮 錢三 竹茹 錢二 人參 錢二 甘草 錢一

右剉生薑ヲ入煎テ用ヘシ

柿蒂湯胃膈痞滿シ效逆スルヲ治ス 柿蒂 錢五 丁香 錢三

右剉生薑ヲ入煎テ用ヘシ

半夏湯シヤクリメ死セントスルニヨシ 半夏 錢六 生薑 錢五

右剉煎テ服ス

橘薑湯胃寒テシヤクリスルヲ治ス 橘皮 乾薑 通草

桂心 人參 甘草 等分 右剉煎用ヘシ

枳殼湯諸ノ咳逆ヲ治ス 橘皮 兩三 枳殼 兩一

右剉煎服スヘシ

鼻衄門

衄血ハ肺ヨリ出ナリ 犀角 升麻 梔子 黃芩 地黃

芍 紫苑ノ類ヲ用ヨ是ニテ血ヲ涼シ血ヲメクラスヘシ

外治 井花水ニテ紙ヲ又ラレ頂ノ上ニシクヘシ左ノ八十

ヨリ出ハ左ノ中指ヲクハル右ノ八十ヨリ出ハ右ノ中指

ヲ系ニテクハル左右ヨリ出ハ兩ノ手ノ中指ヲクハル或ハ

蒲黃ヲ黒クイリテハ十二吹ヘシ又龍骨ヲ末メ吹モヨシ

凡九竅ノイツル血ニ用ヨ

時行ノ疫癘等ノ八十血ヲ早ク留ムヘカラズ仲景カ云
血ヲ八解スヘシ

鼻衄之治方

芍藥湯八十血ヲ治ス 黃芩 芍藥 甘草各等分

右剉煎温服ス

如聖散鼻血ヲ治ス 山梔子性寒 右一味末ノ鼻ニ吹入ヨ

黃耆芍藥湯八十血出效逆シ面黃一服瀕リテスクムヲ治

黃芪三錢 芍藥半錢 升麻 羌活 葛根各一錢 甘草二錢

右剉煎テ食遠ニ可用

吐血門

吐血ハ陽中カンニ陰虛スルガ故ニ血シモニ不行炎上ノイ
キヲヒニ依テ升リイツ脉必大ニシテ乾也大ハ發熱乾ハ失

血リ凡陰ヲ補ヒ火ヲオサヘヨ

痰之前後之辨 先血ヲ吐メ後痰ヲ吐シ咳スルハ陰虛シ

火動シ痰不降四物湯ヲ用ヨ痰藥降火ノ藥ヲ加テヨシ

先痰咳有テ後血ヲ吐スルハ痰積聚也早痰火ヲ可降

諸證吐血之例 嘔吐メ血ヲハクハ胃ヨリイツ實セハ犀

角地黄ヲ用ヘシ虛セハ小建中湯 類ニ黃連ヲ加ヘシ

ヨダレト痰トニ血ノ交ルハ胃中ノ清血熱蒸メ出ル也ツヨ

キニハ梔子ヲ用ヨ輕キニハ藍實ヲ用ヘシ俄ニ紫キ色ナル

血ヲ一椀計リ吐メ別ニ頰ハザルハ苦カラスモトヨリ腹中

ニ有ル死血コオリフシ熱ノヤフリタル也四物湯解毒湯

ノ類ヲ用ヘシ舌上ヨリ血イテヤマサルハ槐花ヲ一

末シテツクヘシ吐血シテ渴スルニハ葛根ヲ用ヨ

凡血ノワツラヒ上行ノ唾血衄血吐血トナハ皆逆也
若變シテ下行シ惡痢トナハ順也故ニ仲景カ云畜血
ノ證ニ血ヲ下ス物ハヲノツカラ愈ハシ

脉例 吐血ノ脉六ナ者ハ治シガタシ身熱スル者モ治
シ難シ身涼ノ脉静ナ者ハ治シヤスシ脉經ニ曰鼻衄
吐血ノ脉流細ナ者ハ吉ナリ浮ナ者ハ凶ナリ

吐血之治方

赤芍藥湯胃ニ瘀血有テ心下フクシ食ニ入テ即嘔血スル
ヲ治ス 赤芍二 半夏一 陳皮一

右剉生薑ヲ入テ煎服スヘシ

三黃丸積聚有テ吐血シ咽膈利セスニ便秘澁スルヲ治ス

黃連 黃芩 大黃各等分 右末ノ丸シ服ス

犀角地黄湯傷寒ノ汗下ニ解セス經絡ニ鬱シ氣ニ隨テキ溢シテ衄トナ或ハ氣ノ道フサガリ流シテ胃ニイリ吐

血衄血ス餘血ツキスノ面黃ニ大便黒ヲ治ス
生地黃 白芍藥 牡丹 犀角各等分

右剉煎服ス潮熱シテ狂言セハ 黃芩 大黃ヲ加ス

黃芩芍藥湯虛シテ飲食スヘラス衄血嘔血スルヲ治ス
黃芩 芍藥 甘草 黃耆等分 右生薑ヲ入煎メ用ヨ

咯血ヲ治スルニハ荷葉ヲアフリ末シテ又ル湯ニテ用ヨ

眩暈門

諸ノ眩暈ハ皆肝ニ屬ス肝風升リ攻テ眩ウンヲナス外四
氣ニ感シ内七情ニ敗ラシ氣鬱シ誕生ノ一時ニ眩ウン生ス
四氣之分別 風眩ハ汗有寒眩ハ頭ヲサクカコトクニ痛

暑熱ノ眩ハ熱ノモタユ傷濕ノ眩ハ手足ヲモク滯ル

内因ノ眩暈 七情内ニヨリ臟氣タイラカナラス鬱レテ

痰涎ヲ生シ痰火ヲ生シ氣ニ隨テ升リ攻頭暈メカフ

ラ痛ミ目ヒラカレス女ハ陰血ヲ主トス産後ノ去血ニヨ

リ或崩漏帶下ニヨリ多ク損シテ陽氣ノタヨリナクシテ

眩ウンス男ハ金瘡吐血過酒房勞ニヨリ精血損レテ腎

氣ノタヨリナキニ依テ逆上シテ頭目眩ウンス

脉例 左手脉數ハ熱多シ 左手脉瀦十ハ死血有也

右手脉實ハ痰アテ十リ 右手脉大十ハ是久病也

脉浮ニテ項強ハ風 脉緊ニテ筋引ツルハ寒也

脉虛ニシテ煩悶スルハ暑 脉沈ニシテ吐逆スルハ濕

治例 火ツノ痰ヲ動シテ眩せハ二陳湯ニ黃芩羌活加

濕ニ侵テ眩暈せハ腎著湯ニ川芎ヲ加ヘシ氣虛ノ眩暈

ニハ木香白朮陳皮半夏ヲ用血虛ノ眩ウンニハ當歸川

芎桂心用ヘシ風證有ハ川芎細辛寒證アラハ乾薑用

眩暈之治方

芎朮湯兩濕ニヲカサレ眩ウン嘔逆頭重メ不食スルヲ治ス

川芎 半夏 白朮各一兩 甘草半兩 右剉煎服ス

芎黃湯熱メ頭目眩ウンスルヲ治ス

虎 荆 芎 風 右剉煎服ス

菊花散一切風ニアタリ頭目眩ウンシ面ハルヲ治ス

菊花 旋覆花 牛蒡子 羌活 獨活 甘草各等分

右剉煎メ食遠ニ服スヘシ

防風飲風痰氣發シ頭旋メ嘔吐不食スルヲ治ス

防風 人參 橘皮各二兩 白朮 茯神各三兩 生薑兩
右剉煎温服ス 桃李雀肉蒜醋ヲ忌ム

癩癩門 附五癩

馬癩ハ口ヲハリ頭ヲフリ馬ノ如クニイハフルハ心ニ應ズ
牛癩ハ眼カタマリ腹フクレ目ヲミハルハ肺ニ應ス
羊癩ハ舌ヲイタシ上ルコトヲコノムハ脾ニ應ス
雞癩ハ頭ヲ振りソリカヘリ物ニ驚ハ胃ニ應ス
猪癩ハツヨクアハラ吐ナリ腎ニ應ス

痰涎甚レキニ依テ心ノ竅ヲ塞ギタマシイ出入せザルニ
ヨツテ俄ニ倒レ卧手足ビクメカシ口眼引ツリ背脊ヨハリ
スクミサケビヨハハリアワツク食頃ニノヨミガヘリサム
ル也癩ハカクノ如ク五種有テ四藏一府ニ應ス癩ハ全ソ

心ノ藏ニ歸スルナリ

又兒癩ノ二證 風癩ハ風ニアタリ經絡通せず此病ヲ
成食癩ハ母或ハラキノ飲食不節ニ依テ魚鳥ヲ過シ酸
ク辛キモノヲ食スルニヨツテ兒癩ヲヤム驚癩ハ母ノ胎
中ニ有テ驚ラウケ或ハ幼キ時物ニ驚カサレテ癩ヲヤム
治例 熱アラハ心ヲスレフセヨ痰アラハ吐ノ法ヲ用ヨ
丹溪ガ云凡癩ヲ順ラスヲ先トシ火ヲタツ子テ涼シフス
ルヲ次トスサリナカラ痰ノ多少ハ火ノ多少ニ隨テ藥ヲ
用ヘシ 青黛 柴胡 川芎ノ類ニテ肝ヲ平ニスヘシ

癩癩之治方

續命湯癩ヲ發リモダヘ倒レテワツク吐ク四體ソリカヘリ目
カヘリロヲクヒツメ物ヲオホエサレヲ治ス

竹歷二升 生地黄汁升一 龍齒末 生薑 防風

麻黃 防己 附子各二兩 石膏 桂心各一兩 右煎ノ服ス

二瀉丸小兒ノ百二十種ノ驚癇ヲ治ス

荊芥二兩 白礬一兩半 右末ノ服スヘシ

諸毒門

蠱毒ニアタル者ハ胃腹コハリ痛蟲ノカムカ如シ血ヲ吐下スルコト皆烏ノキモノ如シ

蠱毒ヲコ、ロミ明ラムルノ法 病人ニツワキヲ水中ニ吐カレム沈ハ蠱ナリ浮ハ蠱ニアラス又大豆ヲフクマスルニフクレテ皮ムケナクサカラヌハ蠱ナリ大豆ヲフクレス皮ムケスレテナクサキハ蠱ニアラス又犀角ノカウカヒニテノ三物ヲカキタテ、ミルニ即アワタキヲコルハ蠱毒也アハ

ダキ發ラサルハ蠱ニ有ス又明礬ヲ含マスルニシブラズカエツテ其ハコシ毒也味ヒ常ノ如クシラクメ其ラサルハ中毒ニ有ラス敗鼓皮ヲ黒焼ニメ末ノ方寸ヒヲ酒ニテ服スレハ必ス毒アタヘタル人ノ名ヲヨハワリ其病ヒ自ラ愈ユ

諸毒之術治 漆ニマケタルハ蟹ノ汁ヲ付ヨ 半夏ノ毒

ヲハ生薑ノ汁或ハ薑ノ煎タル汁ニテ解セヨ 班猫ノ

トクヲハ大豆ノ汁藍ノシルニテ解ス 巴豆ノトクヲハ乾

薑黃連ニテ解ス 附子ノトクヲハ防風ノセンシシルニ

テゲス 麩ノトクヲハ大根ノシル同ク大根ノ實ニテ解ス

狗肉ノトクヲハ杏仁ノ煎シシルニテ解ス 河豚ノトク

ヲハ五倍子明ハンニテ解ス 自ラ死シタル鳥ケダ物ノ

トクヲハフルキ頭巾ノアカニテ解ス 茸ノトクヲハ地漿

ニテケス山梔子佳也

蠱毒之治方

國老飲蠱毒ヲ治ス 明礬 甘草各等分

右末ノ水ニテ調下ス黒涎ノ瀉シテ良

神授散蠱毒ヲ治ス 升麻ノ末ヲ三錢溪水ニテ調下ス

一方ニ蚯蚓十四箇ヨキ醋一升ニヒタシミ、ツ死ノ後其

シルヲ服ス既ニ死シタル者モ生スルナリ

二仙散蠱ニ中リ血ヲ吐下スルノ鳥ノキモノ如クナルヲ治ス

茵根 蕤荷根各等分 右剉煎頻ニ可服蠱主ノ名ヲ呼テ愈

神仙解毒萬病圓五種ノ蠱毒ヲ治シ一切諸毒ヲ消ス

五倍子三兩 山慈苳 續隨子去殼研去油一兩 大戟一兩

麝香三錢別研

右麝香續隨子ヲ除ノ外末ノ其後ニ味ヲ合メスリマゼ

ツヨキ餅ノリニテ丸ス薄荷ノシル或ハ井花水ニテ研テ用

ヘシ端午七夕重陽ノ日合スヘシ或ハ天徳月徳日モヨシ

家ヲキヨメ香ヲタキイカニモ正シク合ヨ婦人六畜已下

鷹猫或ハ六根不具ノ人大ニ禁ム此藥ハ癰疽惡瘡諸

風癰癤赤腫ヲ治ス或ハ狐狸ノ毒惡菌疫死ノ獸毒蛇

犬惡蟲ノ所傷ヲ治ス

健忘

憂思スクルニヨリ心胞ヲ損シ神舎ス、シカラス他事ニヨリ

多クワスル、也病心脾ニアリ精心短少ナルモノワスル、

事也痰下ル者モ忘ナリ

治例 心脾ヲ兼ヲサメテ神安意定時イユ脾ヲ、サムル

二八 白朮 茯苓 甘草 遠志ノ類心ヲオサムルニハ
人參 菖蒲 木香 黃芪ノ類

健忘之治方

定志圓心氣サダメラス心ホレテ多クワスルハヲ治ス

遠志^二 人參^三 菖蒲^二 白茯苓^三

右末ノ蜜ニテ丸シ辰砂ヲ衣トナシ米飲ニテ調下ス

寧志膏心ホレテ物ワススルヲ治ス 辰砂 乳香^{各半}

酸棗仁 人參^{各一} 右末ノ蜜丸棗湯ニテ用ヨ

茯苓湯痰心胞ヲフサギワスレテ諸事ヲ失シ言語癡ノ如ク

ナルヲ治ス 白茯苓 陳皮 半夏 人參 香附子

益智^{各一} 甘草^{錢半} 右判烏梅生薑ヲ入煎テ用ヨ

天地煎心血カワキ少ク口カワキ咽カワキ曾イキレテ寒物

ヲ望ミ心ホレ小便赤瘡イデキワスレヤスキヲ治ス

天門冬^二 熟地黄^一 右末ノ丸人參湯ニテ下ス

千金方ニツヨク物ワススルヲ治ス久ク用シハ聰明ニナリ

智惠ヲマズ 龍骨 遠志 益智 右等分末ノ食後ニ

酒ニテ用日ニ二度

心ノアチフサガリツヨク忘レテボエチガイスルヲ治ス七月

七日ノ蜘蛛ノイヘヲトリテ屍ノ中ヘ入ヨ人ニ知ラセサ

一即チ長ク物ワスス

一方ニハ戊子ノ日東ニサシタル桃ノ枝ヲ三寸キツテ枕ニ

スヘシ必ズワスル事ナシ

陰癩門

四種之癩 エフクリ 一腸癩ハヘノコハレ痛ニ黃水イツ

徳ツカ

二二ハ氣癩時二大ニナリ時二小ニシテ或ハ痛ム三二ハ
升腎腫脹ハ片ヘノコ大ニシテ石ノ如シ四二ハ水癩ハ水
ヲツツミ大ニハルル皆コレ腎虚ニヨリ勞役ニヤフレ風濕
ニ侵レ結メ散セス久メ腎氣虚憊メ癩ヲ生ス
治例 腎ヲ補ニハ苗香地黄ノ類風ヲ散スルニハ防風ノ
類濕ヲノックニハ木通枳實檳榔ノ類血ヲ通スルニハ桃
仁牡丹皮ノ類氣ヲ廻スルニハ橘皮昆布海藻木香ノ
イ巳上脉ヲツマビラカニシ證ヲミワキマヘテコレヲ用又
關元ヲ灸スベシ臍ノ下三寸ニヤリ

陰癩之治方

橘核炒圓四種ノ癩病ヲ治レヘノコハレヤフレ黄水イツ玉
カタクハレ痛ミ臍ニヒ、キワツラウヲ治ス

橘核炒 海藻 昆布 海帶各洗 川練子 桃仁各一

厚朴 木通 枳實 玄胡索 桂心 木香

右末シ酒ノ糊ニテ丸シ鹽湯ニテ送下

牡丹散 小兒ノヘノコ一方サカリタルヲ治ス

防風 牡丹皮各等分 右末メ鹽湯ニ点服ス

脱肛門

肺ト大腸トハ表裏タリ 肺ノ臟ニ熱ヲツ、ム則ンハ肛門

閉結ス 肺ノ臟虚寒スルトキハコウ門脱出ス

婦人小兒之脱肛 女ハ難産ノ時ツヨクイキハリ過メ此

病アリ兒ハ久ク痢ヲ煩ヒ大腸虚メダツコウト成ル

右各證ニシタガヒ虚實ヲ詳ニノ肺ヲ補ヒ腸胃ヲ補トキ

ハ自然ニ入ナリ

治例 血虚スルニハ四物湯血熱スルニハ黄蘗ヲ加ヨ
氣虚スルニハ人參黄耆川芎ヲ用ヨ 升麻ヲイム

脱肛之治方

香荆散コウ門脱出スルヲ治ス大人小兒イツレニモ吉

香附子 荆芥各等分 右剉煎メアツクメコウ門ヲ洗

其後五倍子ノ末ヲヒ子リカケヤワラカニラシイレヨ

縮砂湯大腸虚メ熱シ脱コウ赤クハルハヲ治ス

縮砂 黄連 木賊各等分 右末メ空心ニ米飲調下ス

荆香散ダツコウヲ治メ妙ナリ 香附子 荆芥各半

縮砂三錢半 右末メ食前ニ白湯ニ調下ス

一方ニハ艾葉コク煎コウ門ヲヒタスヘシ即入

一方ニハ木賊ヲ黒ヤキニメ粉ニメコウ腸ニヒ子リカケヨ

一方ニハ五倍子ヲ煎明ハンノ末ヲ入テアラウヘシ

腋臭門

人ノ腋下ノクサキヲ胡腋ト云其イワレハ胡國ノ人其ワキ
各クサシ又狐腋トモ云其イワレハコ狸ノワキ其クサシ

腋氣之治方

一方ワキカヲ治メ神効アリ 密陀僧四兩 明礬拈二兩

輕粉三錢 右末メ腋下ヲアラヒスリ又ル半月ニ至テ

効アリ半年ニ至テ悉イユ

一方溜璃ノ如クナル膽ハンヲ半分ハヤキ半分ハ其マ、末

メ輕粉少入テスリ合生薑ノ汁ニトキ合腋ノ下ニ付ヘシ

一方アツキツキタテノ餅一枚ヲニツニ引サキ密陀僧ノ細

末ヲ一錢ハカリヒ子リカケ急ニ兩腋ノ下ニハサミ少イ子

ムルヘシヒエタラハ是ヲステヨ一度ニテ病ノ根ヲ絶
一方コリヨリモワキノ臭ヲ治ス 白礬^枯 黄丹 雄黄
輕粉 鐵粉 右抹ノ毎夜皂莢水ニテワキノ下ヲアラ
ヒツワキニテ藥ヲトキ付ヨ

眼目門

内經ニ曰目ハ血ヲ得テヨク物ヲ見ルト蓋血ニハ亦太過
不及アリ太過ナル時ハ目壅塞ノ痛不足ナル時ハ目耗
竭ノ暗シ年少壯人ハ血ノ有餘ナルヘシ老人ハ血ノ不
足ナルヘシ是亦大槩ノ説也十ヲ詳ニ虚實ヲ察スヘシ
五輪火ニ依テ病ヲナスノ論 烏睛ヲ風輪ト云肝木ニ屬
ス火肝ヲカセハ目クラシ内眥外眥ヲ血輪ト云心火ニ
屬ス火自盛ナレハ赤眦目ヲツラヌク上トノ眇ヲ肉輪

ト云脾土ニ屬ス火脾ヲオカセハマフタハル、也白睛ヲ
氣輪ト云肺金ニ屬ス火肺ヲカセハ人ミクモル也
右五輪ノ論俗醫皆コレヲ知ルレカモ目疾アレハツノ由
來ヲワキマヘス目ハ火ニヨラサレハヤマサル物ナリト

治例

腎經虚損シ目クラク久ミヘサルニハ空心ニ腎ノ
補藥ヲ用テ食後ニ清涼ノ藥ヲ用ヨ 肝經風熱ヲウケ
或ハ酒ニヤフラレ赤ク黄ナルニハ大黃黃連ノ類ヲ用ヘ
シ 脾經熱ヲウケマフタハレ風アレハシフリカユシ梔子
竹葉之類ヲ用ヘシ 肺經熱シテ肝ヲ尅シ漸々ケト十
ル白マナコニ蒼生シハル、也是ハ熱物ヲ食シタル故ナリ
桑白皮ノ類ヲ用 心經熱シ五臟フサカリ熱シテマシ
リ、カシラアカクシフルニハ梔子仁大黃連翹燈心竹葉

ヲ用テ治 風證ハ散ゼヨキツ花細辛防風黃芩荊芥
熱證ハス、レフセヨ地黄黃連決明子黃芩石膏 氣結
セハ順セヨ桑白皮升麻黃芩菊花 血大過ナラハ血ヲ
瀉セヨ桃仁芍藥生地黃黃芩 血熱セハ地黄芍藥ノ
類ヲ用ヘシ 腎虛セハヲキノフヘシ五味子鬼絲子地黄
枸杞覆盆子 肝鬱セハ調ヨ梔子車前子當歸地黄

眼目之治方

二妙散肝ヲヤシヒ目クラクナミダコボル、ニ良
當歸 熟地黄各等分 右細末シテヨキ酒ニテ調下ス
洗肝湯肝實ノ眼ヲヤムヲ治ス 人參 黃芩 赤茯苓
梔子 川芎 柴胡 地骨皮 甘菊花 桔梗各一兩
黃連 甘草各半兩 右吹咀ノ苦竹ノ葉ヲ入煎食後ニ用

瀉肝散肝熱ノ眼アカクハレ痛ムヲ治ス 梔子 荊芥

大黃 甘草各等分 右剉煎ノ服スヘシ

撥雲散風毒ヲ散シテケラレリツケ赤ク爛ル、ニヨシ

羌活 防風 蒺藜 荊芥 蠟蛻 甘菊花各等分

右細末シテ桑白皮ノ煎湯ニテ調下ス

同銘男女風毒并リ攻メ目クラクマケイデ熱淚ナガレマフ
タ赤クタタシマシリ、ガシラヨリ瘻肉サシ出テ人ミヲオ
カスヲ治ス 羌活 防風 柴胡 甘草各一兩
右剉煎服ス又細抹ノ茶ノ上ズミニテ調下 魚鳥温麩
アフリモノヤキモノ風ヲ發スル等ノ物ヲイム

地黃散白マナコ赤クカユク風ニ向ヘハナミダ出シフツテ

開、難キヲ治ス 生地黃兩 赤芍半兩 當歸

甘草 各半

右剉煎食後二温服

細辛飲眼睛イタミコラフベカラザルヲ治ス

白芷 細辛 防風 赤芍 各等分 右せんし服ス

明眼地黄圓 男女肝虚し積熱ノボリ攻メマケ發リ十三

夕多ク俄ニアカキヲ治ス腎肝損シ風邪ノヲカスニヨシ

牛膝 三兩 石斛 枳殼 杏仁 防風 各四兩 生地黄

熟地黄 各一 右末メ丸シ食前ニ鹽湯ニテ送下ス

荆芥散肝經熱目アカクハルヲ治ス 荆芥 當歸

赤芍 各一兩半 黃連 右剉煎三沸メマナコヲ洗ハ

一方ニワカニアカク熱シ腫シタル眼ヲ治ス 黃連 黃柏

赤芍 杏仁 各等分 銅鐵 一箇 右煎膏絹ノキレヲ浸シ眼ヲ洗

一方ナミ夕出不留ヲ治ス黃連ヲコク煎シ其汁ニワタヲヒ

タシホシテノコヘ

一方目中ノ百病ヲ治ス乳汁ニテ黃連ヲ煎サイクアラヘ

一方虚勞ノ眼ヲ治ス三月ノ夕夕子ノ花ヲ取リカゲボシニ

メ末シ井花水ニテ毎日空心ニ用ヘシ夕服スレハ長生

シテ夜細字ヲヨム

龍腦散 白丁香 龍腦 右等分細抹シ極メ研テ眼ノ

角ニ指ヘシ

真珠散 真珠 一分 蓬砂 二分 龍腦 二分 枯礬 一分 石膏 二分

右細末メイカニモ能クスツテ指スヘシ

珍珠散眼目ノ諸疾ヲ治ス 爐甘石 一兩 煨而黃連煎

龍腦 研一分 麝仁 一朱 去 白丁香 去果 研

右細末シイカニモク夕クスツテ指スヘシ

耳病門

耳ハ腎氣ノ通スルトコロナリ水ヲト口へ火實スルニヨツテ
熱上ニ鬱シテ聽戸フサカリ神氣通セスシテ耳聾ス 奇効
良方ニ云老人頭目昏眩シ上氣シ耳ナリヲホロナルハ皆
陽實シ陰虛スルノ證ナリ俗醫ノ目老弱虛冷シテ熱ナシ
ト是即大ナル誤也

耳聾ノ深淺 凡氣歇メ耳ヲフサギ聾スルハ治シ易シ氣順
流スル則ハ耳中壅塞ノワツラヒナシ腎虛シ精脱シテ耳
聾スルハ治シ難シ色慾ヲ持テ難クシテ天真ノ元氣虛
シヤスク満チ難キノイハルナリ

治例 陰虛シ火動ノ聾セハ四物湯ノ類ヨシ酒ヲ過シ耳
ナラハ枳殼柴胡大黃甘草青皮荆芥耳ヨリ膿ヲ出ス

ニハ龍骨枯礬赤小豆烏賊ノ末ヲ入ヨ 經脈虛シ風ニ
アタリ風耳脈ニ入り經氣フサガツテ聾スル者ハ頭痛ノ
證アリ風ヲ散シ氣通スヘシ防風羌活木通黃耆ノ類大
病ノ後ノ聾ニハ石菖蒲ノ煎汁ヲ耳ニ入ヨ耳ダレニハ香
附子毛ヲ去テ末シカミヨリニテ入ヨ百蟲耳ニ入ニハ雞
ノトツサカノ血ヲ入ヨ即蟲出又ニラノ汁ヨキ醋ヲ合耳
ニ入ヨモシ蟲イキタラハ火ヲ照スニ明ニムカツテ出ツ

耳病之治方

解倉飲子氣虛シ熱シフサカリ或ハウエテ暑ニアタリ風熱
升リ塞リ耳聾ニ膿出ルヲ治ス 赤芍 白芍各半
當歸 甘草 大黃 木鼈子去殼各
右剉煎シ食後臨睡ニ服セヨ

一方耳ダレノ痛ミ膿出ルヲ治ス 五倍子炒乾一兩二分
右細末ノ耳中ニヒ子ル

透耳箇腎虚シ耳ノ内風水ノコエノ如クナルヲ治ス

椒目 巴豆 菖蒲 松脂各一兩 右細末シ薄ク紙ノ

上ニヒロゲ細ク巻テ耳ニ入ヨ一日ニ一度カヘヨ

犀角散風毒フサガリ熱シム子ニ痰アツテ耳シイ頭ヲモク

眩暈スルヲ治ス 犀角屑 前胡 并菊花 石菖蒲

枳殼 生地黃 澤瀉 木通 羌活各半兩 麥門冬一兩

甘草一分 右剉煎食後ニ服ス

一方ニ耳聾ヲ治スルニ鼠ノ膽ノ汁ヲ耳中ニ入ヨ妙也

一方ニ晝夜耳鳴リ流水ノコエノ如ク或ハカユキモノヲ治

ス生地黃ヲ棗ノ核ホトカミニ裹ミ又ラシアツハイニウイ

シ耳ヲフサクサイクトリカエヨ

耳ニ水入タラハ薄荷ノ汁ヲシボリ入ヨ必効アリ

耳ノヲクニ物有テ出サルニ弓ノツルヲキツテカシラヲキラサ

シメテヨキニカワヲ付耳中ノ物ヲ付フ軟一引出スヘシ

鼻病門

鼻ハ肺ノ通竅清氣出入ノ道タリ肺和シ鼻調ルトキハ香

臭フシル熱陽明ノ經ニ客タルハツイニ血ヲセムミタリニ行

則ハ鼻血トナル冷滯ノ氣ハ十二塞カレハ香臭フカ、ズ五

液熱ニ仍出ツ 肝熱スレハ淚イツ 心熱スレハ汗イツ

脾熱スレハヨタレイツ 肺熱ハレハ涕イツ 腎熱スレハツワ

キイツ

右是熱キワマレハ反テ汗イツルノ類也火ニテ金ヲ子ル

熱甚タシケレハ反テ化ノ水トナル

酒瘡 酒ノ過シ氣血フサカリ上焦熱シ鼻ノサキ赤クハ十ノ内ニ瘡ヲ生シミニクキヲ酒瘡ト云外ニハ牛ノ耳ノアカヲツケ内藥ニハ山梔子黄芩橘皮ノ類ヲ用ヘシ又黄藥苦參擯榔ヲ細末ノ猪ノアフラニトキ合ツケヨ

治例 寒セハ温カニ桂心人參麻黄乾薑川椒 熱セハサマスニ黄芩荆芥 氣血フサカラハ通スルニ木香木通 風寒結シト、コヲラハ散スルニ防風升麻細辛川芎羌活陳皮ノ類ヲ用ヨ 風熱升リハ十壅滯シ脉浮ニノ他證無ハ藥ヲハ十ノ中ニ入テハ十ヒル時ハ開通ノ愈鼻病之治方

開通丸八十塞カリ通ゼサルヲ治ス 葶澄茄半兩 薄荷三錢

荆芥一錢 右末ノ蜜ニテ丸シ含ミトロカシ汁ヲノハ

菖蒲散鼻フサカリ通セスイキツガレザルヲ治ス

菖蒲 皂角各等分 右末ノ一分ヒ綿ニツ、ミハ十ノ中

ヲ塞ギシハクアヲノキニ卧ヘシ

犀角散肺熱シハ十カワキ涕ナク心神煩悶スルヲ治ス

犀角屑 木通 升麻 赤茯苓 枳實楚炒各一兩 梔子二兩

右末ノ食後ニ米飲ニテ調下ス

芎藭散鼻塞カリ香臭ヲカ、サルヲ治ス 川芎 辛夷各一兩

細辛三分 木通兩半 右末ノ少シ計リ綿ニツ、ミハ十ノ

中ニ入ヨ寢ル時ハ替ヘヨ五七日ニシテ愈ユ

乳香散ハ十アカク物イデキタルヲ治ス是ヲ酒瘡ト云

硫黄 輕粉 細辛 乳香各等分

右末ノ井花水ニトキ合せ付ヨ是肺ノ熱病ナリ

詩 赤鼻ノ肺風ヲ治ス

肺風赤鼻最難醫 我有良方付與伊

但用硫礬爲細抹 茄汁調塗始見奇

小兒ノ赤鼻ニハ黃丹雄黃ノ二味ヲ末メ水ニトキ合ツケテ

唇口舌門

唇口ハ肺經ノツカサトル處五味ノ入トコロナリ

四氣之分別 風多ケレハ唇動ク 寒多ケレハ唇カハク

燥多ケレハ唇カワク 熱多ケレハ唇サク

氣血之二證 氣鬱スレハクチビルニ蒼生スルナリ

血少ケレハクチビルウミテ色ナシ

味ニテ病ノ源ヲ知 口ノ鹹ハ寒也 口ノ酸ハ食ノ停滯

口ノシブキハ燥トナセ 口ノ水クサキハ虚ナリ

口ノアマクニガキハ熱也 口ノクサキハ腎中ノ熱ナリ

舌 心ノ別脈ハ舌根ニカヘル 心熱スレハ舌ハレ蒼生ス

脾ノ絡脈ハ舌傍ニ懸脾閉ル時ハ白胎ヲ生メ雪ノ如シ

肝ノ脉ハ舌本ヲ纏フ肝フサカレハシタヨリ血出ツ

風寒心脾ヲヤフレハシタコワクモノイワス

熱塞カツテ心脾ヲ攻レハ舌腫シテモノイワレス

心脾虚メ風熱ス是ヲセムレハ重舌木舌出血ヲヤム

治例 口舌ノ瘡ハ上焦熱シ塞カルニ依テ也黃芩麥門

黃蘗黃連明礬ノ類 冷藥ニテ愈スハ中焦ノ不足ト知

レ理中湯ヲ含メ蘿蔔ノシホリ汁口瘡ヲ治ス類ニ口ヲ

ススゲ 口瘡ニハ明礬梔子柳葉灰各抹メ口中ニフケ

口瘡久シクイエサレニハ黄栢ヲ炙末ノ付ヨヒシホス鹽
氣ヲイム 口吻ノカサニハ髮ノ灰古綿ノハイ黄連乾
薑各末ノ付ヨ又擯椰輕粉末ノツケヨ 木舌ハ急ニ針
ニテサシ腫減シ血出愈易 重舌ニハ皂角荆芥各末ノ
醋ニテトキ合ツケヨ同半夏一味イニテ煎メロススクヘシ
舌上ヨリ血出ルニハ黄連黄栢梔子ヲ煎シ頓ニ服スヘシ
傷寒ノ後舌イテオサマラスハ巴豆一粒皮ヲサリカミコ
リニマキコメ鼻中ニ入ヨ必ヲサマレナリ

唇口舌之治方

甘露飲口ニ瘡生シタダレ臭クイエサルヲ治ス

黄栢半兩 青黛 甘草各一錢

右末シテ臨卧ニ一匕舌ノ下ニヲキ液汁ヲノム

同銘口舌ニ瘡ヲ生シ齒クキハレ痛ミ心熱スルヲ治ス

枇杷葉 石斛 黄芩 麥門冬 生地黃 甘草各等分

右剉煎メ時ヲサタメス温服ス

玄參散口舌ニ瘡ヲ生シ齒斷爛シ痛ムヲ治ス

玄參 升麻 獨活 麥門冬 黄芩 黄栢 大黃炒

梔子 前胡 犀角屑 甘草炙

右等分末シ煎メ温服ス

升麻飲脾胃熱シ風冷相乘メ唇ハレサ子マリ痛ヲ治ス

升麻 前胡 犀角屑 薏苡 甘草各半兩 葛根

龍膽草 竹茹各一分 右剉煎シ食後ニ服スヘシ

升麻散心脾熱シ升リ曾塞カリ口舌ニ瘡生シ咽喉ハレ

痛ヲ治ス 升麻 芍藥 人參 桔梗 乾葛各一兩

甘草生半兩

右剉煎ノ温服ス

門冬飲心熱サカンニメ舌上ヨリ血出ルヲ治ス

麥門冬 生地黃各一兩

甘草一分

升麻

茜根各一兩半

右剉煎ノ温服ス

門冬飲心熱サカンニメ舌上ヨリ血出ルヲ治ス 麥門冬

生地黃各一兩

甘草一分

茜根各一兩半

右吹咀シテ煎服ス

舌ヨリ故無ノ血ヲ出フ舌衄ト云槐花ヲ炒抹メヒ子リ懸ヨ

牙齒

齒ハ骨ノ餘リ腎是ヲ主ル手ノ陽明ノ脉モ齒ニ入牙ニソク

危亦林ガ四證 牙齒熱シ痛者齒斷ハシ痛ニ冷水ヲオソク

或ハ血出ルニハ芒硝荆芥升麻地骨皮黃連生地黃之

類牙齒ヒ疔痛ム者ハ熱湯ヲオソク乾薑葶撥細辛胡椒

良薑丁子秦椒ノ類 風ニオカサレ齒痛者ハ冷熱ヲオ

ソル皂角白薑蠶蜂房烏頭細辛荆芥獨活乳香之類

蛙牙ニハ必穴アリ齒斷爛シラトガヒアギト腫痛ムニハ

雄黃鶴虱縮砂秦椒皂角ノ類

牙齒之治方

丁香散牙齒ノ痛ミヲ治ス 丁香 葶撥 蝎梢

右末ノ痛所ニ付ヨツワキラハ吐ヘシ

川芎散面テハレ牙痛コラエラレサルヲ治ス 川芎 白芷

細辛 右等分抹メ少シ計リツケテヨダシ有ハ吐ヘシ

香附子散牙齒疼痛シヲコリサメテルヲ治ス 香附子四兩

細辛兩半 右剉煎メアツクロス、クヒエハハケ

經驗後方齒ノ痛ニ甚タシキヲ治ス

雞屎ノ白ミヲヤキ粉ニシテ痛所ニ置キカムヘシ
香鹽散風冷ヲサリキハノ堅クス

香附子炒焦 三兩 青鹽別研 半兩

右細末ノ痛動ク齒ノ下ハリハクキニ付必齒定ル

患牙ヲトルノ法 烏頭 華撥各一兩半 川椒 細辛各三兩

右末ノ患牙ノ内外ニケツヨ其齒必ヲツ

荆槐散キハノビ疼痛シ血イデヤマザルヲ浴ス

荆芥 槐花各等分 右末ノ痛ム所ニツケヨ

乳香丸蛀牙ノ甚ダ痛ムヲ浴ス 巴豆肉三枚 乳香錢一

右研合丸ノ蟲クイ齒ノ穴ニ入置ヘシ

故ナク牙齒ノヒエテ血ノ出ルヲ浴ス 香附子ノ皮毛ヲサ

リ判ミ生薑ノ汁ニ一夜ヒタシ干シテ末シテ口ヲスノキ

齒ニ付ヨ齒カタマリ動カスノ血トマレナリ

咽喉門

咽ハ嚥也咽門ハ胃ニ下ラル物ヲノミ胃ニイタル喉ハ肺ニ
通メ氣ノ往來ヲ主ル也諸藏熱スレハノト腫ルナリ寒シハ
ノト縮ル皆ノト閉ツ風燥ニラカサレテノトヲ煩フ

咽ト喉トノ病ノ分別 久ク嗽メ喉ヤフ痛ム類ハ咽門ノ

病ニアラス辛熱ノ物ヲ過食シ或ハ嘔吐ニ依テ咽中腫

治例 氣虚シ咽喉ニ瘡ヲ生セハ人參竹瀝ノ類奇効良

方ニ曰纏喉風ツヨクハレ藥モトヲラサルニハ鼻中ニ入

是ヲ吐セテ毒ヲ散スルノ藥ヲ付テ熱シリツイテ腫レ消ス

咽喉之治方

攀豆散喉痺トキ塞ガリ痛ニ甚シキヲ浴ス 明攀錢二

巴豆二粒
去殼

右土器ニテ明礬ヲ火ノ上ニトロカシ其中

へ巴豆ヲイレテ沸キシツマリカワイテ巴豆ヲ去リ明礬
計リヲ末シテ少計リ筆ノ軸ニテコウ中ニ吹ヘシ

桔梗湯風痰上ニ塞カリノト腫レ痛ニ吞ミ吐キテラサルヲ

治ス 桔梗二兩 甘草各一兩

右剉煎食後ニ温服ス又ハ其桔湯ト名ツク

射干湯喉痺ハレフサカリ痛食飲イラサルヲ治ス

射干 白芷 當歸各一兩 杏仁 升麻 犀角屑

甘草各半兩 右剉煎ニ温服ス 海藻菘菜ヲイム

如聖湯 痰熱シ咽ニ瘡生シ食物イラス嗽血氣急ニ或ハ

小兒ノ瘡毒咽ヲセメ腫レ痛ムヲ治ス 麥門冬半兩

牛旁子 桔梗 甘草生各一兩

右剉竹葉ヲ入煎ノ用又末ノ竹葉湯ニ調下モ佳ナリ

一方咽喉閉チ塞カルヲ治ス 崩砂研

右一味細抹シテ鹽梅ノ内ニヲシ合せ含ミトロカセ

一方喉痺シテモノ云レス息イテス既ニ難儀ニ及時用ヘシ

膽礬一豆計ヲ末シテ鴉ノ羽ニテ痛ム所ニ付ヨ即イユ

モシ膽礬ナクハイタダキノ髮ヲ抜キ去モ尤妙ナリ

諸蟲門

夫人ノ腹中ニ蟲ア几事人ト共ニ生ノ人ノタメニ害ヲナス

蟲ノ證モ九種ノ分別有 一二伏蟲長サ四分是群蟲ノ主

也 一二蛔蟲長サ一尺此蟲心ヲツラヌケ人ヲ害ス 三二

白蟲長サ一寸多ク子孫ヲ生ズ甚シクメハ長サ數丈ニ至ル

四ニ肉蟲爛レタル杏子ノ如シ人ヲ煩滿セシム 五ニ肺蟲

形千カイコノ如シ人ヲノ咳嗽十サシム 六二胃蟲形千
ソツニ似タリ人ヲノ嘔吐噦セシム 七二弱蟲カクテ
十カコノ如シ人多ク唾ヲ吐カシム 八二赤蟲十マシキ肉
ノ如シ人ヲノ腸中ヲ鳴ラシム 九二蟻蟲イカニモ細カナリ
胴腸ニ居ス多クハ痔トナル凡藏虚シ脾胃ヨワクシテ生
冷甘肥油膩海藻ノ類ヲ雜食シ時節ヨロシカラス停滯ノ
蟲ヲコル其證カラエツキニ酸水ヲ吐キ涎多ク痛ミヨリサ
メアリ千金方ニ曰五藏勞スル時ハ熱ヲ生ス熱スルトキハ
蟲ヲ生ス 心蟲ヲ虻蟲トイフ 脾蟲ヲ寸白ト云 肺蟲
ハカイコノ如シ 脾蟲ハタダレタル杏子ニ似タリ 腎蟲ハ
寸ニ切タル線ノ如シ 五蟲皆ヨク人ヲコロス或人ノ説ニ
曰諸蟲皆カシラ下ニ向フサリヤガラ初一ヨリ初五ニ至ル

マラハ頭ヲ上ニ向フ故ニ藥ヲ用ル物多月脚以前ナルヘシ
三二蟲トハ長蟲赤蟲蟻蟲ヲ云也

凡諸蟲ヲ治スルニハ寒熱虚實ヲ察シ脈ノ浮沈遲數ヲワ
キヘ脈ト證トニ隨テ藥ヲホトコスヘシ 又風寒暑濕ニ
侵レテ蟲ヲコラハ是ヲ散シ是ヲ温メ是ヲ漏シ是ヲサマスヘ
シ煎藥ヲ用ヨ但シ蟲ノ藥ヲ加ヨ 七情鬱滯シ食事ニヨ
リ蟲發ハ是ヲ和シ是ヲ消ノヨシ丸藥ヲ用ヘシ

諸蟲之治方

聖効散近久ヲトハス寸白蟲ヲ治ス 木香 檳榔各等分
右細末ノ先炙タル猪肉ノ類ヲ咀テ只汁ヲノミ滓ヲ吐
出即藥ヲ米飲ニテ調下空心ニ用レハ辰巳ノ刻ニ蟲下
雷丸圓蟲并二積ヲ治 檳榔 牽牛子各半 雷丸一兩半

棟根兩 大黃兩 皂角片半 三稜 莪朮各二

木香隨意加入 右末ノ皂角ノ膏子ニテ糊ヲニテ丸ニ曉キ

茶ノ上清ニテ用ヘシ蟲下テノ後白粥ヲ食セヨ

安蟲散蟲ヲユリ心腹痛三面白ク口ヨリ清水ツ沫ヲ吐ヲ

治ス 胡粉炒 檳榔 鶴虱各二 白礬一分

右末シテ每服一字米飲ニテ調服ス

外臺秘要方ニ三虫ヲ治スルニ十下シキ桃ノ葉ヲ柝キシボ

リ一升ノムヘシ

寸白蟲ヲ治スルニカヤノ三四十九箇皮ヲサリ日ノ朔ヨリ

七日下テマイ日七箇ツ、空心ニ服セヨ蟲消メ水ト成ル

癰瘡門

瘡證多ク其脉ヲトリコ、口ミズノ專ラ外ヲノミ攻メ治ス

几串誠ニ誤ナリ 夫癰腫ノ生スル事ハ陰陽和セス氣血
壅滯スルニヨリ脉ヲ明キラメス何ヲ以テカ陰陽ノ虛
實氣血ノ聚散ヲ知ランヤ

脉辨 浮ニシテ數ナルハ發熱スヘキニツレ發熱セスカエ

ツテツ、口サムキハ癰疽ノ生スルユエ也 脉洪大ナルハ

將ニ瘡ノススマントスル也未タウテザルモノハ下スヘシ

ウミツエテ後脉洪大ハ治シ難シ自利スル者モタスカラス

浮ニノ數ハ表熱也沈ニノ數ハ裏熱也仲景ガ曰ハ特ニ

數脉アラワレハ即惡瘡生スベシト 脉芤ハ血虛ヲ主

ル漬テ後芤ヲ得ルハ治シ効シ瀉モ漬テ後ハ苦シカラス

諸瘡ノ本源 内經ニ曰膏梁ノ變多ク丁腫ヲ生ス又曰

榮氣シタカワサレハ肉理ニ逆メ癰腫ヲ生ス又曰口

硬
題

ノ痛痒瘡ハ皆心火ニ屬ス蓋人火氣ニ近ケハ先少熱ス
レハカユク甚熱スレハ痛ミ直ニサレツクレハ焼テカサ
テ皆火ノ用ナリ又曰熱血ニ勝時ハ即癰トナリナリ
癰ハ壅也淺ノ大ナリ疽ハ阻也深ノ惡シ癰ハ節也瘍ハ
頭ニアル小瘡ナリ癰ハ浮小也カサホロシノ類ナリ結核
ハ熱甚シキ時ハ鬱結堅硬ニシテ果中ノサ子ノ如シカナラ
ス潰ヤフレサレヒ熱散スル時ハ自ラ消ス

内發外發之論 初テ疽ヲ發スル時麻子ノ如ク身體發
熱シ疽ヲ生スルノ所モ又熱シ何ニモ高クハシ多ク痛ミ
ヤフレテ後肉色紅紫ナリ外發トナスヤレ大サ益ノ如
クナリトモ能ク藥ヲ用テ治スレハ必ス愈ユ 初テ疽ヲ
發スル時身體熱セスツヨクヨダルク疽ノ生スル所モ熱

セス六七日ノ間ニ漸クニ廣ク大ニメハレス高ラスヒイラ
カス痛マズ爛レクホムヤフレテ後肉紫色ニシテ黒シ是ヲ内
發トナス未タイテキサル先ニ藏府ヤフレ損スル時ハ必
ス死スル也

五善之辨 一ニハ動息自ラヤスク飲食ノ味ヲシル 二ニ
ハ大小便常ノ如クニトノホル 三ニハ膿スミハレ消シ
クサカラス 四ニハ眼アキラカニ面ノ色ヨク聲常ノ如シ
五ニハ形體和シテ神氣タイラカナリ

七惡之辨 一ニハ煩燥ノ效シ腹痛ニ渴シ泄シ小便澁ル
二ニハ膿血大ニ漏リ腫シ色トルヲハ甚シク痛ミ臭シテ
手ヲツケサセス 三ニハ喘氣シ短氣ニシテ心ホレオキス
四ニハ眼正シカラス黒眼小ニ白眼赤ク青クワラヌツカ

イヲナス 五ニハ肩背スクミ子一リ手足ヲモシ 六ニハ
食飲ス、マスカラエツキヲシ食味ヲシラス 七ニハコ
カシ色ヤフレ唇鼻アツク赤ク面目ウツハルル

右五善ノ中三ヲ見サハ愈ン七悪ノ中四ヲ見サハ危シ
内ヨリ外ニユキ外ヨリ内ニユクノ論 脉沈實ニメ發熱煩
燥シ外ニ色トリ痛ム事ナク邪氣フカク内ニ甚シ故ニ
藏府ヲ疎通メ以テ病根ヲ絶ス 脉浮數ニメ色トリハル
几事外ニアツテ形證外ニアラワルオソラクハ邪氣極チ
内ニユクヘシ故ニ先裏ヲ托メヨシ

灸不灸之分別 灸ノ痛マズハ痛ンテ後灸ヲヤメヨ 灸ヲ
痛ハ痛マズメ後灸ヲヤメヨ 灸ノ痛、サレハ先其潰ル
ニアタル故ニ痛マズ其後良肉ニアタル故ニ痛ム 灸ノ

痛ムハ先イマツマサルニアタル故ニ痛ム次ニツエント
スルニアタル故ニイタマズ先又レカミヲ以テハレタル上ニ
オホフ即ハヤクカハク所是瘡ノカシラ也ニシニクヲアツ
クヘキ其上ニアテ、灸ス三壯ツ、ニテニクヲ取カヘヨ
灸メ痛マハイタマサルニイタレ灸メ痛スハ痛ニ至ルヘシ
瘡皮緩急之辯 癰疽ノカワヒキツリカタクイタムハヨシ
瘡ノカハツツケユルモノハアシ、 肺癰男女效メ
習ノツコ痛ミ脚ハレ咽カワキ渴シイキレ唾キニコリナ
クサクニ便シフリ結ス是肺癰面ノ色白ク嘔吐ス膿テ
嘔吐止者ハ自ライユ膿テ後嘔吐シ面赤クウミヲハクコ
ト白粥ノコトクナル者ハ難治男ハ氣ヲ主トナス是ヲ得
レハ十二ニツニツスツフ女ハ血ヲ主トナス是ヲ得レ

八十二七ツハツツスツフ實スル者ハ先參蘇飲ヲ用テ
後桔梗湯虛スル者ハ先小青龍湯ヲ用テ後桔梗湯

乳癰 婦人乳ノサ子ハリタルヲオソク治スレハ必癰トナル

乳房ハ陽明ノ經ニ屬ス乳頭ハ厥陰ノ經ニ屬ス或ハイ

カニヨリ或厚味ニヨリ氣流行セス乳竅通セス汁出ガ

レハ結メ腫痛ム又陽明ノ經血熱スル時ハ膿トナル初テ

サ子ナル時イタムヲコラヘシイテモミヤワラケ血脉通和メ

自然ニ消散ス是ヲ初二セザレハ癰トナル

治癰疽之例 身ヲモク脉緩ナラハ濕ヲサレ身熱シ脉大

ナラハ熱ヲサメセ諸瘡ニメクルメクト動搥スルハ脉弦ナ

ルヘシ風ヲ散ヨ氣シフリ氣トメコヲリ乾燥メ脉瀦ナラハ

氣ヲ瀉シ血ヲオギノヘ 脉沈實ナラハ先肉ヲスカメヨシ

脉浮大ナラハ先裏ヲ托セヨ 左ノ寸關洪緩ニメ弦ハ

客邪脉上皮膚ノ間ニアリ心汗ヲ發メ其榮衛ヲ通スヘシ

癰疽ヲ治スルニハ榮氣ヲ瀉スヘシ苦寒ノ藥ニアラサレハ

其痛ヲノツク事アタハス諸瘡ニ痛ミアレハ俗醫往往ニ

芳香ノ藥ヲ用テ驗レテシ若シ經絡ヲ通レ藏府ノ積滯

ヲ去ハ必ス痛無シ苦寒ノ藥ハ必ス疼痛ヲ除ク

凡十二經ノ中ニ血結シ氣アツマレハ必瘡ヲ生ス專連翹

ヲ用ヘシ證隨テ藥ヲ加ヨ 瘡發メ渴セハ葛根 瘡發メ

嘔吐セハ半夏 瘡ニ渴シモタヘハ黃連 瘡ニ水ヲ吞ハ

澤瀉茯苓 カサニ大便結セハ大黃 大便カワキ通シ難

クハ桃仁麻仁 上焦ニ瘡アラハ黃芩 中焦ニ瘡アラハ

黃連 下焦ノ力ナシハ黃蘗知母防ヒヲ加ヘシ

先燥熟ノ後カサヤルハ胃火盛シ腎水ヲ黃柏ニテ補ヨ
癰瘡之治方

乳香散癰疽初テ發シ一二日十ラハ毒氣ノ心ヲ攻ンフヲ
防クヘシ先此藥ヲ服スヘシ嘔吐スル物ハ大切ナリ

眞菟豆粉兩四 通明乳香兩一
右細末シ每服二錢コク煎シタニ甘草湯ニテ調下ス

解毒散癰疽始テオボユルヲ治ス 犀角屑 升麻 朴硝
赤芍藥 木通各一兩 石膏兩二 玄參 麥門冬

甘草各半兩 右剉煎シ温服スヘシ
葛根散癰腫熱盛ニ口カワキ煩渴シカラヌツクヲ治ス

葛根 黃耆 升麻 麥門冬 瓜蒌根 赤芍藥
梔子 生地黃各一兩 黃芩三分 右剉煎服ス

内消散癰腫カタク結シ疼痛スルヲ治ス 人參 瞿麥

白藜 升麻 當歸 黃芩 防風 黃耆 沈香
甘草各一兩 赤小豆煮熟一合 右末ノ湯ニテ調下ス

清腫竹葉湯癰疽熱盛ニメハレ痛ミイロトヲ治ス
生地黃兩六 黃芩 芍藥 人參 知母 甘草

白茯苓各三兩 瓜蒌根 升麻 黃芪 麥門冬
右剉每服一錢コク煎シタニ竹葉湯ヲ入煎ノ服スヘシ

梅花飲初テ生シ熱ノ煩渴シ瘡毒内ヲ攻ムルヲ治ス
忍冬兩四 瓜蒌根 葛根 川芎 烏梅核和 黃耆

甘草生 蘇木酪一兩 右剉煎ノ服スヘシ
五香連翹湯一切ノ惡核癰疽諸腫物ヲ治ス 大黃兩三

青木香 沈香 乳香 丁香 麝香 升麻 獨活

桑寄生 連翹 射干 木通各二 右剉煎温服ス

五香湯裏ヲ托シ毒氣腹ニ入ヲ治ス別證有ハ加減ス

丁香 木香 沈香 乳香各二 麝香分三

右咀散メ煎シ服ス嘔セハ麝香ヲサリ藿香ヲ加

門冬湯癰疽ツエテ後膿水タエサレヲ治ス 麥門冬

黃耆 五味子 白茯苓 人參 官桂 當歸 遠志

川芎各一 甘草分三 右生薑棗入煎シ用

升麻湯臂ノ上ノ癰ヲ治 白芷半一錢 升麻

桔梗各一 生黃芩三錢 酒黃芩兩四 紅花 甘草各半

右センシ食後二服ス

内托連翹散疔瘡イデ皮ノ色ヘンゼス痛ムス推動カス寒

熱ヲ發セハ即針ニテサシテ後是服セハ自ラ消散スル

連翹 白芷 生地 赤芍各一 大黃 梔子 薄荷各七

朴硝二兩 黃芩半兩 甘草半一錢 右剉燈心竹葉ヲ入煎服ス

黃耆散癰疽ツエテ後ヲ治シ客熱ヲサリ虛ヲ補 黃芪

石膏各一 知母 麥門冬 白芍 白茯苓 桂心

熟地黄 人參 升麻各一 甘草半兩 右煎服ス

牡丹散肺癰生シ兩乳ノ間胃痛ニ膿血ヲ吐シ息キノ臭

ヲ治ス 牡丹皮 赤芍 地榆 桔梗 薏苡仁

升麻 黃芩 甘草生各一 右剉煎食後二服ス

内托升麻湯婦人ノ乳ノ堅クサ子メルヲ治ス 升麻

連翹 青皮 甘草各二 瓜蒌仁三錢 右煎食後二服

瓜蒌散乳癰妳勞ヲ治 瓜蒌仁三錢 乳香字二 右細末ノ

温酒ニテ服ス熱甚シキ者ニハ石膏ノ抹少計加テヨシ

婦人ノ乳ハ堅ク痛マズ痒ラス子マレヲ治 橘皮兩二
湯ニ浸シ白ヲ去末ノ麝香少入テ酒ニテ服セヨ甚妙也
乳癰瘡ニハウツハリノ上ノホコリヲヨキ醋ニテトキ合是ヲ
付ヨ妙ナリ又ヘノコノハレタルニモヨシ

又生地黃ノ汁ヲツキレホリ付ヨ乾カハ頻ニ付替ヨ必驗有
升麻飲心ニ風熱アテコガサノ多キヲ治ス 升麻 大黃

黃芩 枳實 芍藥各一兩 當歸 甘草各半兩 右燈心ヲ入煎用
一掃散疥癬ヲ治ス 防風 荆芥 苦參 地骨皮 薄

茸草各等分 右末ノ蜜水ニテ調下或丸シ茶清ニテ用ヨ
赤豆湯少年氣血トモニ熱シ瘡疥ヲ生シ變ノ腫滿トナリ

煩渴ノ小便澁ルヲ治ス 赤豆炒 當歸 商陸 連翹
赤芍 防已 猪苓 桑白皮 澤瀉各半兩 右剉煎服ス

熱甚レキニハ犀角ヲ加

諸ノ瘡疥赤腫ヲ治スルニ赤小豆ヲ末シ水ニトキ合カサノ
マワリ及ビ赤キ所ニツケヨアツキハ強ク子ハリテ後ノ干カ
タシ故ニ苧根ヲ末メ赤小豆ニ加テ付ヘ子ハラヌノ落
シ易シ又赤小豆ノ煮汁ヲ吞モヨシ

疥ノ付藥 羊蹄根生切一兩 單烏一箇 硫黃錢一 白礬半錢
生薑錢一 右末ノ泔ニ夜ヒタシスリ合ヨキスヲ入カサ

ヲ洗テツケヨレハラクメ又ル湯ニテアラヘ
乾癬久ク愈スフタヲカキハ廿廿ハ黃汁イデクモリ兩ノフル

毎ニ痒ヲ治ス 巴豆十枚 右炭火ニテヤイテ油
盡テミツヲ少ハカリ加テスリ合ウスク付ヘシ

諸癬ヲ治スルニ生半夏二兩ツクダキフルキヒシホヲ入

スリ合癖上ニツケヨ日二三度

癩風ヲ治スルニハ先ヨキ布ニテナマツヲタテヤフリナスビ
ノハタニテスリハガシ 附子 硫黄各等 研合薑汁ヲ
入テツケヨ 又蛇蛻ノ煎汁ニテレゲクアラヘ必ス愈也
三十年モ愈サレ惡瘡ヲ治ス 大黃 黃連 黃芩各一
右末ノ瘡ヲ洗ヒノコイツケヨ日二三度 黃蘗ヲ加テ良
手足ノ惡瘡新久ヲトハズ治スルニ 黃栢ノウハ皮ヲサリ
蜜ヲヌリ炙カワカシ如此三度ノ剉末ノ水ニテコ子テ先
山椒ヒトモレノ煎湯ニテ瘡ヲアラヒ乾シ輕粉少シ瘡ノ
底ニオシ入其後黃栢膏アツクオシツケテ紅絹ニテカタク
ユウヘシツコカシハタラカスヘカラス瘡ノフタ落テ必愈也
又人ノ骨ヲヨクヤキテ末メヒ子リカクルモ吉シ

折傷之治方

雞鳴散高キヨリヲキ或ハ木石ニオサレ瘀血痛ヲ治ス

大黃酒蒸 一兩 杏仁二十一粒 去皮尖

右煎酒ヲ少シツヘ曉雞鳴ノ時服スレハ明テ瘀血下ス

活血湯高キヨリヲキ惡血脇下ニ流シ甚痛ヲ治ス

大黃酒浸 五錢 柴胡 當歸各二錢 桃仁五十 筒研 紅花半錢

天花粉 川山甲炮 甘草 右煎シ酒ヲ加食前ニ用

沒藥散打撲傷損シ或ハ落馬シ木石ニオサレ痛ムヲ治ス

乳香 沒藥 川芎 白芷 芍藥 甘草 牡丹皮

生地黃 右等分細末ノ童子ノ小便ニ酒ヲ加調下ス

骨ヲクシキウキタガワシ腫ル痛ムニハ生葱ヲスリ爛ラカ

シナベニテナリ熱シアツキ時ニセタニ上ニオシアテ、絹ニ

テツ、ミカラゲテラクヘシ冷水ヲノムヘカラス杖瘡ヲ治スルニ赤小豆ヲコトカニカミクダイテ痛ム所ニ付ヨ

溺水之治方 凡水ニヲボシ死シタルヲハ一宿モ猶スックフヘシ皂用ヲ粉ニシ綿ニテツ、ミ肛門ニ入ヘシ即水イテ即活スヘシ 又ヨキ醋半盞ヲ鼻ノ中ニ入ヨ

凍死之治方 手足スクミロクイツメテ只少イキカヨワハ釜ニテ灰ヲイリ温メ袋ニ入テ臂ヲ温メ醒メハ取替ヘヨ眼ヲヒラキ息イテハ其後粥ノウワ清ヲ少シノマセヨ若曾ヲアタメズメ火ニテアフレハ必死スルトリ

魘死之治方 物ニオツワレ死セハ燈ヲ不可照前ニチカツイテ急ニ不可喚雄黄ノ末一錢ヲ桃枝ノ煎湯ニテ用骨鯁之治方 魚鳥ノ骨咽ニ立タルヲ治ス 縮砂、甘草

右等分末ノ綿ニ包ミ含テ汗ヲ吞ヘシ必ス痰ニ隨テツ一方象牙ヲ細末ノ水ニテコクスリヲロメノムヘシ一方鵬砂ノ末ヲ新汲水ニ調下ス

竹木刺之治方

ヨロツ物ノ立タルニハ牛膝ノ根ヲカミ爛ラカシ付ヨ一方黑豆ヲスリタ、ラカシ水ニ子ヤレツケヨ妙ナリ箭ノ子ノ肉ニ留リ或ハトギノ又ケサルヲ治スルニ

巴豆 去皮 羌蝦 大者一箇 半粒 去足翅ヲ 二種同ク炒テ研マセ疵ノ口ニ付ヨ痛ミ必痒シ甚痒キ時疵ノ口ヲカキウコカセ必ス又クル也 黃連湯ニテ洗ヒ牛ノキモニ石灰ヲトキ合付ヨ

自縊之治方

クビカ、リノ心下溢ナラハ朝ヨ、夕ニ及トモ治スヘシ静ニ

イダキカ、エテ繩ヲトケ切ニ繩ヲキラサレ和ニ喉ノ繩目ヲ
ヲシテヲシ兩耳ニ管ヲ入テ兩人ノ吹ヘシ一人ハ兩足ニテ
肩ヲ踏テ其手ニテ髮ヲヒク少モユルムヘカラス一人ハ手ニ
テ其臂ヲ下ヨリ上ヘサスリ舉ヨ一人ハ其手足ヲ何ニモ和ニ
ノベタリカガメタリメサスル若イキタラハ温粥ニテ咽ヲ可潤
一方ニハ即鼻下ノ人中ノ穴ニ針灸スレハ必スイク

蛇傷之治方

毒蛇ノ人ヲサシタルヲハ急ニ地坑ヲホツテ痛所ヲウツミ
カタク其上ヲキツクヘシ毒氣節土ニ入テ痛ミヤム
毒蛇ノ人ノ穴ニ入タルヲハ急ニ尾ヲ刀ニテサキ胡椒ヲハ
サミイトニテカラゲテヲケハ自ラ出ツヌクヘカラス
毒シヤニアタリタル人水ヲ渡ルヘカラスワタレハ痛ミ甚シ

毒蛇ヲサクルノ法雄黃ノカタマリタルヲ五兩カケテ身ノ
ウチニモツヘシ山路ニ入トモアエテ蛇近カツカス

馬嚼之治方

馬ノ人ヲカミタルニハ雞冠ノ血ヲ付ヨ陽馬ニハ雌雞ノ血
ヲ用ヘシ陰馬ニハ雄雞ノ血ヲ用ヘシ

犬咬之治方

人クラヒ犬ニクワシタルニハ明礬ノ末ヲ入テフタヲセヨイ
ヌハスタダレスノイユ
一方生杏仁ヲトガリラステ、細末ノ水ニトキ合付ヨ

湯火傷之治方

湯火ニ燒テ悶絶スルニハ急ニ小便ヲ吞セヨ
一方ニハ石膏ヲ取メツケヨ妙アリ

一方ニハ小麥ヨイリ黒クソ末ニ麻油ニキ合ツケヨ
漆瘡之治方

ウルシニマケタルニハ迷ノ葉ヲヌリ合ツケヨ

一方ニハ蟹ノハラノ黄ナル物ヲ取テ付ヨ

一方ニハ山椒ノ煎汁ニテアラヘハ妙ナリ

暴瘧之治方

故ナク音聲イテサルヲ失音ト云

橘皮五

右剉水三盞入一盞ニ煎頓ニ服ス

一方 杏仁三分去皮 桂心一分

右ヒトツニツキ子ヤシテ梅ノサ子ホトニ丸シ綿ニ包三合

三共汁ヲ静ニ吞ヘシ日ニ五度夜ニ三度取力ヘヨ妙也

鬱證之論法

夫氣血通和スレハ萬病生セス一モ悱鬱スレハ諸病生ス

故ニ人身ノ諸病多クハ鬱ヨリ生ス 白朮川芎ハスベテ

諸鬱ヲ治ス證ニ隨テ加味セヨ 氣鬱スルニハ香附子童便

蒼朮酒浸撫芎 血鬱スルニハ桃仁紅花青黛川芎香附子

濕鬱スルニハ白芷蒼朮川芎 熱鬱スルニハ山梔子青黛

香附子蒼朮撫芎 食鬱スルニハ香附子神麴山查蒼朮

痰鬱スルニハ海石香附子南星瓜蒌

越鞠丸諸ノ鬱證ヲ解ス 蒼朮 香附子 川芎 神麴

梔子 右末ヲ丸シ用ヨ又ハ芎朮丸ト名ツク

中惡之論治

中惡トハ是人ノ精神衰弱ニシテ鬼邪ノ氣卒ニアタル也其

形平卒然シテ胃腹サシ痛三悶亂シテ死セントス

凡中惡腹ニミテ滿キ脈緊大ニシテ浮ナル死ス細ニシテ微
ナルハ生ク

中惡ノ大ニ吐血ノ脈細數ナルハ死シ浮緩ニシテ疾者ハ生
諸ノ邪鬼タリ或ハ小兒ノ驚キム子サハキメ啼フツルヲ
治ス 安息香ヲ豆ツフホト焼テ煙ヲノマセシムレハ其邪
自ラサレ

全九集之五終

16
1530

